

雨水出水浸水想定区域図
(浸水深)

別紙 1



尾張旭市

尾張旭市

1:5,000

0 0.125 0.25 0.5 km

凡例

行政区界

公共下水道の排水区域

想定される浸水深(想定最大規模降雨)

0.1m～0.3m未満

0.3m～0.5m未満

0.5m～1.0m未満

1.0m～3.0m未満

3.0m～5.0m未満

5.0m以上

確率年	降雨強度
1,000年	時間最大雨量：147mm/h

「想定最大規模降雨」とは、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が概ね1/1,000以下の降雨です。

1 説明文

① この図は、想定最大規模の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合があります。

② この図は、水防法の改正に伴い、指定時点の瀬戸市公共下水道（雨水）の整備状況等を勘案し、想定最大規模降雨（時間最大雨量147mm）により想定される内水氾濫の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

③ この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の排水区域（赤枠）のうち、浸水が想定される区域（着色部）で示しています。

2 基本事項等

① 作成主体：瀬戸市

② 指定年月：令和6年8月

③ 告示番号：瀬戸市告示第 104 号

④ 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項

⑤ 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（時間最大雨量147mm）

⑥ 浸水想定手法：詳細モデル（降雨損失モデル+管路水理モデル+地表面流出モデル+氾濫解析モデル）による浸水シミュレーション

3 備考

① シミュレーションの実施に当たっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

② この図では、予測される浸水深が0.1m以上を浸水としています。

問い合わせ先：瀬戸市都市整備部下水道課